

まちの話題

2 / 17

演じて認知症を理解する

智頭小学校の四年生を対象に「認知症×コミュニケーション」授業を行いました



智頭コミュニティ劇場と地域包括支援センターの共催で菅原直樹さんを講師に迎え、ジェスチャーゲームや演劇を通じて認知症について理解を深めるために実施しました。最初に地域包括支援センターの職員が「財布がない」「家に帰る」「道に迷う」の3つのショートドラマを実演して、認知症の本人が家族から責められ、悲しい気持ちを表現しました。

その後、児童が3つのグループに分かれ、認知症の本人が幸せな気持ちになるよう、どのように寄りそうことができるか、台本を作り直し、役を決め練習をしました。

練習中「財布を一緒に探したらどうかな」「財布の置き場所を決めよう」「家に帰りたなら一緒に行ってみよう」など、どうすれば誰もが悲しい気持ちにならず安心できるか意見を出し合いながら考える姿がありました。

児童は、劇を通して「寄りそう」体験をしました。そして劇の中で、認知症役から、「ありがとう」の言葉を受け、笑顔になり、ほっとする児童の表情が印象的でした。認知症を身近なこととして、理解を深める良い機会となりました。



麒麟のまち
Kirinomachi

麒麟のまち インフォメーション

第44回 智頭町

智頭河畔桜土手を舞台にした智頭町春の風物詩 第13回 智頭河畔桜Caféフェスティバル

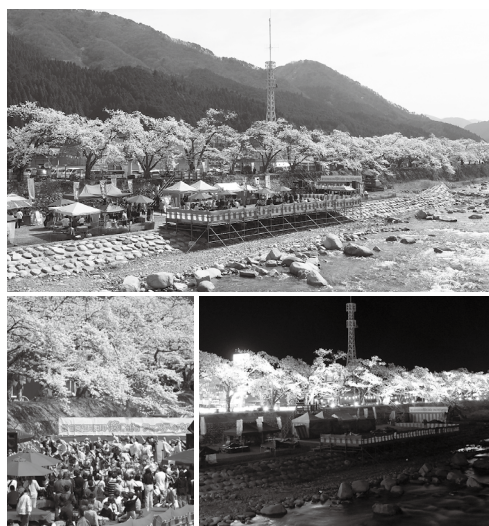
智頭町では、毎年季節ごとにイベントを開催していますが、春は「桜Caféフェスティバル」を開催し、町内外から多くのお客様に来場いただいています。第13回目今回は、4月4日(土)・5日(日)に開催します。

河川敷がこのイベントだけの特別仕様に！

このイベントのために栈敷席や特設ステージを設置。千代川を背に、土手に咲き並ぶ桜を見上げながらお花見や芸能を堪能できます。飲食の屋台も多数出店し、活気ある華やかな会場となります。

2日目はステージイベントが盛り上がる！

2日目となる4月5日にはステージで踊りや唄、演奏などが次々と披露され、お子様から大人まで楽しんでいただくことができます。



第13回 智頭河畔桜Caféフェスティバル

【日時】4月4日(土)午前11時～午後7時
5日(日)午前10時～午後5時

【会場】智頭河畔

【主催】智頭河畔桜Caféフェスティバル
実行委員会

【問合せ先】

(一社)智頭町観光協会
☎(0858)76-1111

次回、若桜町へ！